

認知症に関する活動計画（概要）

山梨県作業療法士会では、「山梨県の認知症支援に関して、作業療法士ができることを考え、実践する」をスローガンに、地域に向けた活動に重きを置いている。そんな中、昨年度より山梨県リハビリテーション専門職団体協議会（山梨県理学療法士会、山梨県言語聴覚士会と協業）としての活動を開始した。また県士会のみでの活動だけでなく、今年度より認知症家族の会の世話人として関わることになった。

講座開催

県や市町村、県内団体や企業などからの依頼を受け、認知症サポーター養成講座を開催している。

また、市町村や老人クラブ等から依頼を受け、認知症予防講座や認知症ボランティア養成講座の講師を担当する予定である。



地域での認知症啓発イベント協力

市町村主催の認知症関連イベントへの参加・協力に加え、企業主催のイベントにも参加して、認知症クイズや認知症予防体操等、多彩な活動協力が広がっている。

今年度も、市町村や家族会主催で開催されている認知症カフェより依頼を受け、ミニ講座やカフェ立ち上げ準備等の支援を行っている。また、Run伴への協力参加を継続する予定（9/21）で、イベント会場で、ブースを担当する。



認知症の人と家族の会との連携事業

今年度より、当県士会の認知症対策推進委員会が認知症の人と家族の会の世話人として関わることになった。現在、定期的な世話人会への出席やイベントに参加している。今後、当事者への支援活動や研修会を行っていく予定である。



認知症の方への作業療法士の関わり事例集の作成

昨年度末に認知症対策推進委員会の委員を中心に、認知症の方への臨床での関わりの一部をまとめて作成した事例集を各関連団体や市町村、地域住民へ配布する（現在、県士会のHPより入手可能）



今後の展開

これまでコロナ禍より、イベント等が行えなくなり、活動制限があったが、今後感染状況に応じて、認知症スタンプラリー等の活動の計画をしていく予定である。